

中学生投手の投球制限ガイドライン (新) 2022年版

レギュラーの部・ジュニアの部大会

1. 中学部レギュラー及びジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。
 - ① 1日最大 80球とし、連続する2日間で 120球 以内とする。
連続する2日間で 80球 を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を 40球 以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
 - ② 大会中は1日 80球 以内とし、翌日投球を休めば3日目は 80球 の投球を可とする。
 - ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
 - ④ 連続する2日間で 80球 を超えた投手、並びに3連投した投手は登板最終日
並びに翌日は捕手としても出場できない。
(投手として登板できない場合は捕手としても出場できない)
 - ⑤ ボークは投球数としない。
 - ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。
 - ⑦ 1年生が投球する場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事

1年生大会

1. 1年生大会の試合での登板は以下のとおり制限する。
 - ① 1日最大 70球 とし、連続間する2日間で 105球 以内とする。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を 35球 以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
 - ② 大会中は1日 70球 投球後、翌日投球を休めば3日目 70球 の投球を可とする。
 - ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
 - ④ 連続する2日間で 70球 を超えた投手、並びに2連投した投手は、
翌日は捕手としても出場できない。
 - ⑤ ボークは投球数にしない。
 - ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球した事とする。
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

小学生投手の投球制限ガイドライン (新) 2022 版

レギュラーの部・ジュニアの部の大会

1. 小学部レギュラー及びジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。
 - ① 1日最大 **70球**とし、連続する2日間で **105球**とする。
3連投(連続する3日間)は禁止する。
 - ② 大会中は1日 **70球**以内とし、翌日投球を休めば3日目 **70球**の投球を可とする。
 - ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
 - ④ ボークは投球数にしない。
 - ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

* 小学部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし翌日は登板できない。(ダブルヘッダー登板は可)
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
2. 下記の項目の制限は設けないが指導者は十分考慮する事。
 - ① 小学部に於いては投手から捕手の制限は設けない。

* 補足・キッズの部(4年生以下)

1. キッズの試合での登板は以下のとおり制限する。(4年以下)
 - ① 1日最大 **50球**とし、2日間の連投は禁止する。 (**キッズは連投禁止**)
 - ② 打者の途中で制限数が来た場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
 - ③ ボークは投球数にしない。

共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は連続2日間投球したとする。
また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。
2. 練習中の投球数は、1日70球以内、週350球以内とする。
また、週1日以上、全力による投球練習をしない日を設ける事。

◎投球制限ガイドラインの補足説明

(1) ガイドラインの③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。
中学レギュラーの部を例にすると、初日においては80球を超えた場合であり、また、連投2日目であれば、初日68球投げたとすると、2日目の可能投球数52球を超えた最後の打者に適用される。

そのため、投手に3連投を予定している場合には、初日、2日目に40球を超えると3日目は投げるができない。初日、2日目に於いて打者の途中であっても40球投げた時点で交代（打者の途中での投手の交代は制限していない）しなければ、3連投できない。（交代せず41球投げれば3連投不可）

(2) ダブルヘッダーについて

ダブルヘッダーの試合はその日の第1試合、第2試合どちらかで投げれば翌日（前日）の試合の連続扱いとします。（片方の試合に登板しなくても休みとはしない）

両方の試合に投げた場合は1日の最大投球数80球（中学部）で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げていた場合は3連投の扱いとなり、1試合40球を超えていると投げられません。